



りえぞん

Naragei
Liaison

あなたに
Click!!

神之門知美さん

染織コース2回生(大阪府出身)

最高傑作のタピストリーを織りたい!



きっかけ

小さい頃から図画工作が大好きでした。絵を描くより何かモノをつくることが好きでした。

美術系の高校に進み、絵画や工芸など様々な芸術分野の授業がありました。染織をやってみたい!と思ったのは高校1年生の時に友だちと奈良芸のオープンキャンパスに参加したのがきっかけです。そこで先輩がつくれた大きい染めの作品を観て、とても感動しました。わたしもこんな作品をつくりたい!と強く思いました。あと着物をじっくり見るのが初めてで、着物を一からつくることができるのも

魅力的でした。高校とは違うことができると思い受験を決めました。

制作ひとすじ

1回生の1年間は先生方のきめ細やかな指導のおかげで、かなり成長できたと思います。2回生になると「染め」か「織り」を選択するのですが、わたしは「織り」を選択しました。「織り」は糸が少しづつ自分のデザインした通りにカタチを変えていく、そういう時間を使って積み重ねていく工程が好きですね。とても達成感があるのでおもしろいです。

作品は納得いくまで先生にアドバイスをもらいます。思ったように糸が染まらなかったら、何度も染め直すぐらいこだわりを持ってつくり上げていきます。制作で心がけているのは原寸大の下絵を忠実に再現すること。これは工芸の基本だそうです。家に居ても制作したくて早く学校に行きたい!と思うぐらい染織が楽しいです。

自然や生き物をモチーフに

作品は草花や木など自然のものをモチーフにすることが多いです。今、制作している着物は家の裏に咲いていた花、ジャーマン・アイリスがテーマです。2回生で初めて織ったタピストリーは歴史のある飛鳥がテーマで「あすかー過去から現在へー」というタイトルです。いにしえの飛鳥から生成された縁豊かな自然が新たな根を育むというイメージで制作

No.40 2014.11

発行/
奈良芸術短期大学
〒634-0063
奈良県橿原市久米町222
TEL 0744-27-0625
<http://www.naragei.ac.jp>

CONTENTS

- 1 あなたに Click!! News
- 2 Prize Gallery
- 3 研究室訪問 Topics
- 4 卒業生メッセージ Topics

しました。今まで作品のテーマを草花にしようとあまり思わなかったのに、奈良芸に入学してからは周りの自然に魅かれて、イメージがどんどん膨らむようになりました。これを織りでグラデーションにしたら、どれほどキレイになるだろうか・・・など考えます。次は海洋生物に挑戦したいです。クラゲが泳ぐ姿を織りで表現したいです。

これから目標

わたしは織りの中でもタピストリーをつくることが好きです。卒業するまで自分の中で納得できる、自分が一番いいと思える最高傑作を織りたいです。3~4メートルぐらいの大きいものがいいなと考えています。今までの先輩方がつくったものより一番大きいタピストリーをつくりたいです。



News

■奈良県大芸術祭 大学祭見本市に初参加

9月~11月は奈良県大芸術祭が開催され作品展やコンサート、イベントなど様々なことが各地で催されます。本学は9/14(日)奈良県文化会館で行われた大学祭見本市に参加。県内の大学8校が参加し、それぞれの大学祭をPR。

審査員や観客の投票により優勝校を決定しました。本学は今年の紫苑祭のテーマ「映画」にちなんで、デザインコースのカズ・オモリ先生作成のポップコーンヘッドを学生4名が装着していざステージへ。映画仕立てのオリジナル映像をmajieで大学祭PRと学校自慢を披露しました。



■橿原市昆虫館とコラボ 「昆虫キャラクター展」

橿原市昆虫館と初めてのコラボで作品展を開催しました。デザインコース2回生イラストレーションクラスの学生たちが昆虫キャラクターをデザインし、来場者から人気投票を行い、前田紗希さん(富山県出身)の「べっこちゃん」が最優秀賞に選ばれました。指導にあたったデザインコース涌井晃先生は「ライブペインティング」でキャンバスにカラフルな昆虫たちを大胆に描きました。QRコードから完成までの様子が見られます。また子どもたちが参加できる「キッズライブペインティング」も開催し、みんなで大キャンバスに絵を描きました。



ワクイアキラの
ライブペインティング

Prize

第90回白日展

入選 朝日夏実さん(洋画2014卒)

2014京展

栖鳳賞 白川奈央子さん(日本画2012卒)

入選 向平真奈さん(専攻科2回生/日本画)

、 野崎笑美さん(専攻科2回生/日本画)

、 永井由美子さん(日本画研究生)



第74回美術文化展

奨励賞 会員推举 長船侍夢さん(洋画1990卒)

第61回日本伝統工芸展

入選 松川和弘さん(陶芸2000卒)

、 古川拓郎さん(陶芸2000卒)

、 市野良行さん(陶芸1984卒)

第19回アートムーブコンクール展

入選 谷口 藍さん(洋画2回生)

碧い石見の芸術祭

全国美術大学奨学日本画展2014

奨励賞 西田香織さん(専攻科2回生/日本画)

Gallery

■となりの不思議ないきもの展

(デザインコース2回生イラストレーションクラス)

6/2~7/31 奈良芸キャンパス

学内全域に不思議ないきものたちが出現!ARアプリを使って、スマホやタブレットをかざすと画面に学生作のキャラクターが歌ったり踊りだしたりという仕掛け。



■進級制作展 聖心会館ギャラリー



クラフトデザインコース
4/14~4/21



日本画コース4/22~5/7



洋画コース5/8~5/16



デザインコース5/26~5/30



染織コース6/4~6/20



陶芸コース10/1~10/14

■妖怪ワールド展

(デザインコース2回生コミュニケーションクラス・イラストレーションクラス)

7/15~7/27 奈良県立図書情報館

カブリモノ作家でデザインコースのチャッピー岡本先生と学生のコラボ展。

鬼や天狗などの全国の妖怪や現代生まれの妖怪などの「妖怪のカブリモノ」約60点が勢ぞろい!



■展々展

日本画コース卒業生たちのグループ展
8/19~8/24 京都府立文化芸術会館



■原展

日本画コース卒業生たちのグループ展
8/26~8/31 ギャラリー祇園小舎



■炎展

社会人入学生のグループ展
9/12~9/17 檜原文化会館



■クラフトデザインコース専攻科作品展

9/30~10/5 MU東心斎橋画廊



研究室訪問

各コース研究室には教員のアシスタントをする副手がいます。コース出身の卒業生で、授業準備やコース内事務を担当しています。学生たちのサポートや相談もできる心強い先輩たちです。

- ①ニックネーム
- ②出身地（都道府県名）
- ③奈良芸または奈良芸周辺のお気に入りの場所
- ④好きな作家やアーティストとその理由
- ⑤今、ハマっていることは？
- ⑥後輩へメッセージ



正田彩香さん(洋画コース副手)
①まぶ
②奈良県
③制作できるマイスペース
④ウェイン・ティーボー
色合い、構図が好き
モチーフがかわいい
⑤女子力向上
(と言いつつ、ほぼ毎日スッピンです…。)
⑥よろしくお願いします！



渋谷晃平さん(デザインコース副手)
①ダニー
②大阪府
③丸山古墳
④いのまたむつみ 恩人です。
⑤ギター
⑥まず考えよう。それから動こう。



白川奈央子さん(日本画コース副手)
①おちゃん
②奈良県
③畝傍山や深田池のまわり
④鳥頭尾精 色の感じが好きです。
ジャコメッティ
線と空間にあるグレーのトーンが好きです。
⑤植物の栽培です。
⑥いつでも研究室に遊びに来てください！

上村ひとみさん(陶芸コース副手)
①ひーちゃん ひとみさん
②大阪府
③橿原神宮前駅から岡寺に向かう途中
にあるパン屋さん「パルファン」
日替わり食パンが楽しみ♪
④ルーシー・リー
イギリスの女性陶芸家
繊細でシャープな形と鮮やかな青や、
あたたかみのある白、ピンクなどの
色使いが素敵です。
⑤セブンイレブンのからあげ棒をおや
つに食べること♪
⑥今の自分にできることを最大限に発
揮して、創作の面での自分を見つけ
てください！



荻野明香里さん(デザインコース副手)

- ①オギノッティー
- ②兵庫県
- ③図書館
- ④グラフィックデザイナーの大原大次郎
この方の作る文字は、クールで緻密で、
大胆でアナログのあたたかさもあって、
初めて見た時から私の憧れです。
- ⑤手書きのアナログ感のある文字やデ
ザインをつくること。
- ⑥デザイン案に行き詰まったら、図書
館に行ってください。世の中には美
しく、かっこよく、心地の良いもの
を作るデザイナーがたくさんいます。
大いに参考にしましょう！



稲丸晴菜さん(染織コース副手)

- ①稲丸さん (学校では)
- ②宮崎県
- ③BONNE TARUTE(ケーキ菓子店)
岡寺駅の近くにあります。
- ④昔の染織職人さん
- ⑤アクション系の映画を見ること。
- ⑥大学生のときにしか出来ない事をたくさんしてください。



沖本彩音さん(クラフトデザインコース副手)

- ①おきちゃん
- ②大阪府
- ③クラフト専攻科室
- ④宇野亜喜良 絵柄に惹かれて
- ⑤アイロンビーズ
- ⑥頑張ってください！



Topics

■おふさ観音で作品展

今年で5回目となる奈良県橿原市にある「おふさ観音」での作品展。学生の作品を5月15日～6月30日まで境内の茶房にて展示しました。境内では約2千株のバラが咲く「バラ祭り」と同時開催で毎年多くの観光客で賑わいます。



■夏期公開講座

7月27日は一般対象、7月28日は教員全般、8月18日は美術教員、それぞれを対象とした夏期公開講座を開催しました。

■小学生対象「夏休み一日こども大学」

7月20日、毎年恒例の小学生が参加できるアート講座を開催しました。講座は「わたしの宝物を描こう」と「レザーであそぼう」の二つでした。指導には、教員以外に教職課程を履修している学生たちも指導にあたり、ちびっこアーティストたちは普段は手にしない素材を使ってのモノづくりで楽しい時間を過ごせたようでした。



卒業生メッセージ

小村遙奈さん(グラフィックデザイナー)
'09年デザインコース卒業
現在、ピー・アンド・エー(株)企画室勤務
発想力を磨くために仕事もあそびも本気!
人生そのものが豊かになりました。



この仕事の魅力・やりがい

私が勤める会社はとてもユニークで、印刷事業を核にして、化粧品を入れる箱などの商業パッケージデザインや、花材カタログの通販のほか、自社で企画考案したパーティグッズなどのオリジナル商品の製造・販売を行っています。特にオリジナル商品については、「デザインのチカラで、何か面白い商品ができるのか」と常にアイデアの種を探し続ける必要があります。私はデザイナーになっ

て仕事だけではなく、「本気で遊ぶ」ようになります。山に登ってキャンプをしたり、街へショッピングに出かけても「面白いことが、どこかにころがっていないか」アンテナを張り巡らしています。仕事を通して、生活や人生そのものが豊かになったような気がします。

わたしの学生時代

クラスの仲間7人で、フラッグアートのコンペ(幅2メートルもある大きな旗でデザイン力を競う大会でした!)に挑戦。世界的にも有名なイラストレーターが審査員を務める大会で、賞をもらったことが一番の思い出です。友だちと“喜び”を共有できたことが、なによりも嬉しかった!また、デザイナーとして経験を積むほどに思い出すのは、谷口嘉彦教授がいつも私たちに言っていた「常に時代の流れを読み取りなさい」「発想するためには常に自由でいいなさい」という言葉。学生の頃はピンとこなかったのですが、今は行き詰ったときに自分を励ます言葉として思い返しています。そんな言葉が記憶に残るよう、何度も繰り返して言ってくれた谷口先生に感謝です!

後輩への応援&アドバイス

デザイナーやイラストレーターを目指す人は、好きなだけでなく、自分の力量にもそれなりに自信があ

るのではないかでしょうか。私もイラストが大好きで、かわいいタッチの絵には自信がありました。しかし、プロになれば、自分の得意分野だけでは仕事はできません。新人の頃、ホラー調の「怖い絵」の依頼があり、頭を抱えながら仕事をしたことを思い出します。しかし、こうした難しい仕事がデザイナーやイラストレーターを成長させるのです。憧れの仕事を目指す過程で、みなさんはたくさんの困難に遭遇するでしょうが、それは“正しい道のり”だと信じて頑張ってください。



Topics

4

■ デッサン講習会in佐渡島

8月9日、10日に新潟県佐渡島でデッサン講習会を開催しました。日本画ミニ体験も同時開催し、2年前の前回よりも多数ご参加いただきました。島にはデッサンなどを学ぶ環境があまりないようで佐渡の高校生からは「大学の先生に教えてもらえるなんて貴重な機会になりました。」と嬉しい声がありました。



■ 奈良県立万葉文化館と

コラボ「巨大紙芝居プロジェクト」
「万葉集」にもその原形が見られて、誰もが一度は読んだことのある浦島太郎のお話を1.8×2メートルの巨大紙芝居に描きました。デザインコース1回生の野本真由さんと湊谷夏穂さんが中心となり制作しました。原画は野本さんが担当しました。

■ 中学生デッサン講習会
7/31に県内2校の中学校(美術部)より依頼があり、一日デッサン講習会を開催しました。洋画・日本画コースの教員が、中学生30名の指導にあたりました。参加した中学生たちは、こんなにじっくりモチーフに向き合って取り組むことが初めてで良い機会になったと喜ばされました。

■ 奈良県警の防犯

四コマ漫画制作
広報サークルが奈良県警に協力して防犯を呼びかける四コマ漫画を毎月制作しています。



■ 奈良県警の万引き

ポスター制作
広報サークルのデザインコース2回生が制作しました。



■ 企業合同説明会

6月5日と9月11日に学内で本学学生採用を希望する企業を招き、企業説明会を行いました。毎年これで内定を得る学生もいます。

建学の精神

日本人の心のふるさと飛鳥で「教育は環境なり」の信念のもと、芸術性豊かな人材を培い、造形的精神や技術を習得することによって品位ある社会人、専門家としての人材を育成する。

教育理念

この建学の精神を生かすべく『人間性回復と創造性開発の扉を拓く』を教育理念とし、飛鳥で生まれた日本人の心が、今を生きるヒントになることを期して教育を展開する。

教育の目的

本学は、清浄な環境において、人間性の鍛磨と知性の涵養に努め、一般教養及び美術に関する専門教育を施し、学生自らの人間形成を支援して、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。

教育の目標

目的達成のため重点目標をおく。

- 1.正しくものを観る目を養い、創造性開発のための基礎基本の徹底
- 2.飛鳥(古代)文化に根づく感性の育成
- 3.技法・技術のみならず人権文化に徹した人づくり
- 4.『もの』に働きかけ『もの』を取り組む造形活動の育成

学習成果(こんな人を育てます)

- 美術の専門的・実践的能力を備えている。
- ヤル気・ホン気・コン気の態度を身につけている。